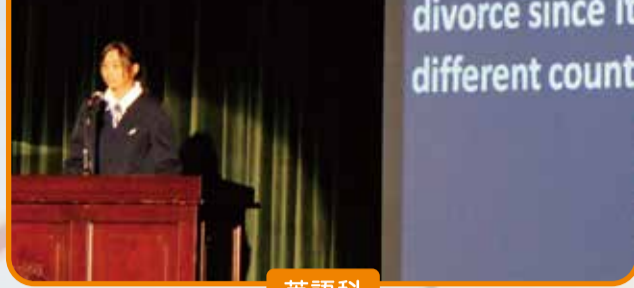


# 平成26年度 久高祭

福岡県立久留米高等学校  
平成26年10月4日(土)



バトン部



英語科



PTA だより  
久留米高校

第81号  
発行 久留米高等学校  
父母教師会  
編集 企画広報委員会

気 叡 誠 校  
魄 智 実 訓



放送部



1年生 合唱コンクール



書道部



ホームメイキング部



演劇部



茶道部



ESS club

- ～その他～
- 企画委員会・家庭クラブによる 感謝の言葉の発表。
  - 保健委員会による EC活動の紹介。etc...
  - 一般参加のステージも 盛り上がりました。



♡バザー大盛況でした♡



華道部



家庭クラブ委員会

**久高祭を終えて**  
久高祭実行委員長 星山 竣

久高祭お疲れ様でした。今年度の久高祭は大成功だったと思います。この成功の要因は三つあると思います。一つ目は発表者の努力です。朝早くや放課後に残って作り上げた二年生のコマ撮りビデオ、一年生の合唱、この他にもどれも例年以上の素晴らしいものでした。二つ目は実行委員や野球部、ラグビー部の働きです。おかげでステージのセッティングやスムーズな

進行ができました。三つ目は参加者の態度です。盛り上がる時や、静かに聞く時のメリハリが出来ていて、とても良い雰囲気を作ってくれたと思います。これまで述べてきたことから分かるように、今回の久高祭の成功は久高生全員によるものです。とても感謝しています。

今回の久高祭で人それぞれですが、得られた物があると思います。私もですが、それを今後の高校生活に活かしていきたいと思っています。



吹奏楽部



スペシャルゲスト!!



いざ出発

# カナダ研修旅行



バンクーバーにて

## カナダ研修旅行を終えて

二年主任 鬼木 興一郎

去る十月に二学年は英語科五泊七日、普通科三泊五日の日程でカナダ研修旅行を実施しました。主な研修内容は、ホームステイ、ブリティッシュコロンビア大学（UBC）訪問、バンクーバー市内自主研修等です。また英語科は現地校との交流も行いました。七クラスが英語科、普通科A班（三・四・七組）、普通科B班（一・五・六組）の三団に分かれ、十月二十二日に英語科、二十三日にA班、二十四日にB班の順に出発しました。本校を出発してからはバスや飛行機を乗り継いで成田空港へ向かい、そこから約八時間でバンクーバーに到着しました。長時間の移動や十六時間の時差でやや疲れ気味生徒諸君も、空港近くのレストランでボリューム満点のハンバーガーを食べ、すっかり元気になりました。



ランチタイム

その後、団毎の日程に従って活動しました。UBCでは学生ボランティアの皆さんの案内で、広大で紅葉の美しいキャンパスを班別に見学しました。市内自主研修では、出発前にグループ毎に立てた計画に基づいて精力的に歩き回りました。ホームステイでは、ホストファミリーと対面しや緊張気味に各家庭に向かい、週末をホストファミリーと過ごしました。さらに英語科は現地校のノートルダム高校と交流を行い、生徒諸君にとっては英語付けになる貴重な機会となり、大変有意義な二日間となりました。帰国後、日常生活に戻った生徒諸君が、将来について話していたり、英語学習に意欲を示しているのを見て、この旅行で得たものは大きいとあらためて実感しています。今回の研修旅行に際しましての保護者の皆様のご支援とご協力に深く感謝申し上げます。

## カナダ研修旅行を終えて

〈普通科〉二年六組 林田 水牙輝

日本から一歩も出たことなかった自分にとって、今回のカナダ研修旅行は、楽しみであると同時に不安なものでもありました。しかし現地でのバス移動では遠くに見える山々や、町並みなど通り過ぎてゆく様々な景色の美しさに圧倒され、一瞬にして不安も吹き飛んで行きました。UBCでは、現地の学生の案内で広い敷地を歩き回り、様々な人種の混じるキャンパスに驚かされました。ホームステイでは、最初はどうしても通じない英語に四苦八苦しましたが、何度も言葉を交わすうちに会話も弾み、三日目の朝は別れを惜しみながらホストマザーに手を振り別れました。班別自主研修では、種類のよくなるから硬貨と奮闘しながら現地を散策しました。今回の研修旅行で、異国文化と触れ合うことで、英語の大切さを再認識すると同時に海外への興味が湧き、自分自身の世界を広げることができたと思います。

## カナダ研修旅行を終えて

〈英語科〉二年一組 堺 ほのか

私達英語科は五泊七日のカナダ研修旅行に行ってきました。その中で私が最も印象深いのはホームステイです。私は猫を三匹飼っている夫婦にお世話になりました。一緒に生活する中で実感したことは、自分の語彙力の無さです。ホストファミリーと会話していると単語がわからなくて伝わらないことがよくありました。自分以外に日本人がいない中で、自分の覚えている単語で会話をすることはとても難しかったです。しかし、そんな中でも、自分の言葉がきちんと伝わったときはとてもうれしく、もっと英語を話せるようになりたいと思えました。自分が今まで勉強してきた英語を試すことも良い経験ができました。また、カナダには様々な国の人が住んでいました。私のホストファミリーはカナダ人ですが、ホストマザーはフィリピン人です。二人はもちろん英語で会話をしていました。グローバル化の進んだカナダでの研修旅行だったからこそ、英語を学ぶことの重要性を実感することができました。



英語科 自主研修



ホストファミリーとの別れ



普通科 自主研修



普通科 自主研修



ホームステイ宅にて



ホストファミリーとの出会い

## クラスマッチ

平成26年9月10日(水)

一	男子 バレーボール	1位 6組B	2位 3組A
	女子 バレーボール	1位 2組	2位 2組
二	男子 ソフトボール	1位 6組A	2位 4組A
	女子 バasketボール	1位 6組	2位 4組B
三	男子 サッカー	1位 6組	2位 4組
	女子 バasketボール	1位 5組A	2位 2組B



## 大学視察研修を終えて

研修委員長 溝上 小百合

9月22日月、校長先生、増田先生、保護者50名の計52名でPTA大学視察研修に行きました。今回は、本校から毎年多数の生徒が進学している福岡大学と佐賀大学を訪問しました。最初に訪問した福岡大学では、大学職員の方から各学部の内容、進路状況、学生の生活状況等の説明をいただきました。とてもきれいな総合図書館の1階にある「陽だまり」というレストランで昼食を食べ、その後、総合図書館の中を見学しました。先進機能を完備した図書館はとても素晴らしいと感じました。福岡大学は、80年の歴史とトーム44個分の広さがある九州で最も大きな大学で、9学部31学科で学生数2万人超のマンモスの大学です。また社長出身者数は全国の大学で一番多く、各界で活躍している卒業生も多く、活気あふれるキャンパスで学生も生き生きと見られます。次の佐賀大学でも同じように、最初に大学職員の方から各学部の内容、進路状況、学生の生活状況等の説明をしていただきました。入ってからは、佐賀大学の方針の佐賀大学は、文化教育学部、理工学部、経済学部、医学部、農学部、5つの学部があり、学生数約7千人で地域と共に未来に向けて発展し続ける大学を目指しているとのことでした。また、2016年4月に文化教育学部を改組し、新学部を設置されるそうです。現在の文化教育学部にある学校教育課程、国際文化課程、人間環境課程、美術・工芸課程を、教員養成部門に一本化して教育学部を新設する予定とのこと。今回の視察研修会では、普段なかなか見学することができない大学に行くことにより、進路に関する意識が高まり、保護者同士の親睦を深めることができました。

## 編集後記

行事のたびに限られた時間の中、精いっぱい努力し、思いっきり笑って子供たちの姿をたくさん見せてもらい、薄いくさ先生方へ心より感謝しています。保護者としてもしっかりと支えていけるよう、更なるパワーアップを心に誓いました。(企画広報委員)



## 留学生交流会について

国際交流委員長 藤野 小百合  
去る7月5日、筑後地区に暮らす留学生を招待して「留学生交流会」が行われました。久留米高校からは、英語科の1・2年生計79名の参加でした。アメリカ、中国、ドイツなどから15名の留学生が来てくれました。最初に、校長先生の挨拶を頂き、それから留学生に自己紹介をしてもらいました。日本文化に興味を持って日本に来てくれたことほうれいことです。次に、七夕飾りを作り、それからゲームをしました。豆つかみゲームは、班全員で協力し、小豆5点と甘納豆1点の配点を考えながら箸で横の人のさらに渡していきまされた。意外にも留学生たちのお習字がとて上手で、楽しんでくれたのが良かったです。生徒たちは、同じ班になった留学生たちとおしゃべりをしたり一緒に作業したりして、仲よくする姿が見られました。これを機に、国際交流の輪が広がり、将来に活かせると思います。